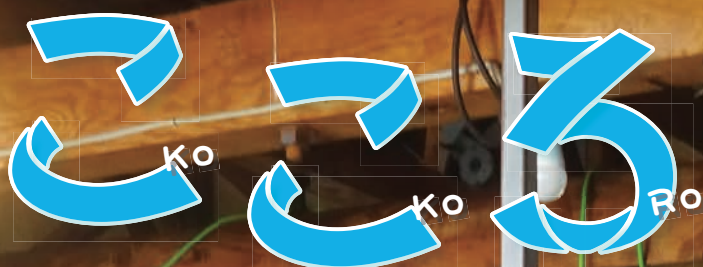


社協だより



手と心
つないで築く
京丹後

令和5年8月10日発行
第94号

将来の活動者に思いを込めて (プラスチックリサイクルの取り組み)

表紙関連記事 8 ページに掲載

● 目 次 ●

2P

社協新体制

3P

地域共生ステーションの活動

4P

5P

令和4年度事業報告・決算

6P

評議員の交代

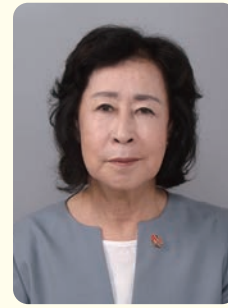
7P

お知らせ

8P

あいたん広場

地域とのコミュニケーションの強化



会長 藤井 美枝子

このたび、令和5年6月27日に開催されました理事会の役員改選において、会長に再任されました。皆様には、平素より当会の活動に対し、「ご理解とご協力をいただき深く感謝申し上げます。

さて、昨年からの物価高騰は、コロナ禍で疲弊した市民生活を直撃したほか、5月に新型コロナウイルス感染症の位置づけが変更され、経済活動や社会活動が活発化する中で、この3年間で希薄化した人と人との関係性や、外出自粛の影響で参加者や担い手が減少しているサロン活動など、地域福祉の立て直しが急務となっています。

また、地域住民が抱える課題が複

雑化・複合化しており、子ども・障がい・高齢・生活困窮といった分野別の支援体制では、複雑・複合的な課題や狭間のニーズへの対応が困難になっている現状があります。

そのため、国では属性を問わず広く地域住民を対象とした重層的支援体制整備事業を創設し、京丹後市でも本年度からこの事業を実施するための準備事業に取り組みれています。その中で当会の果たす役割は重要であると考えており、すでに昨年度から総合相談窓口である地域共生ステーション事業を一部地域で進めているところです。

今後は、地域におけるささえあい活動を一層推進し、誰もが豊かで安心して住み続けられる地域づくりに努め、また社協活動への理解と協力を得るために、より地域とのコミュニケーションの強化を図ってまいります。

新理事・監事の紹介

令和5年度定時評議員会（6月27日開催）において任期満了に伴う役員の選任があり、また、同日開催の理事会で、新しい役員体制が決定しましたのでご紹介します。

（敬称略）

役 職	氏 名	区 分	役 職	氏 名	区 分
会 長	藤井 美枝子	学識経験者又は福祉関係者	理 事	平井 正仁	地区推薦者（峰山町）
副会長	今田 幸四郎	民生児童委員代表		池田 恒夫	地区推薦者（大宮町）
	古橋 伸一	学識経験者又は福祉関係者		柴田 隆行	地区推薦者（網野町）
常務理事	新井 清宏	学識経験者又は福祉関係者		木本 勝幸	地区推薦者（丹後町）
理 事	片山 四良	自治会代表		坪倉 護	地区推薦者（弥栄町）
	神者 榮	老人組織代表		嘉戸 毅	地区推薦者（久美浜町）
	岡田 佐代子	女性組織代表		中西 陽一	行政職員
	赤木 京子	ボランティア団体代表	監 事	富田 孝司	財務管理について識見を有する者
	小西 和一郎	社会福祉施設等の社会福祉事業を営営する団体役職員の代表者		中江 義昭	社会福祉事業について識見を有する者
	時田 威				

任期：令和7年6月定時評議員会の終結の時まで

地域共生推進事業の始動

令和4年度に市から受託した「共助の基盤づくり事業」では、市民局や地域公民館と連携して地域共生ステーションをモデル的に弥栄町と久美浜町に設置し、地域に向いて地域課題などに向き合ってきた。そしてその中で得たものは地域（区長や活動団体）とのコミュニケーションの大切さでした。

令和5年度は、市からの受託事業が「地域共生推進事業」となり、地域共生ステーションについては網野町と丹後町を加えて4つの町で実施することになりました。

今、地域では、自らが将来的な課題を認識しながら、新たな地域コミュニティの検討に取り組みられているところが増えており、社協としても地域力ルテの作成を基本とし、行政と連携しながら地域とのコミュニケーションをさらに強化してまいります。

サロン活動の再開支援

網野町では、旧郷小学校校区へのアプローチとして、まず郷の区長さんに対する新たな地域コミュニティについての説明の場に参加したほか、4年ぶりに再開しようとしている郷のサロン活動を、福祉委員と連携して支援していくことや、連合区に属する他の地区にも広げていくことにしています。



市の取り組みに対して意見を交わす郷区長

地域での支え合いを検討

丹後町では、地域内で決まっているごみの収集日や時間に合わせて、自分でごみ出しをすることが難しく、他の人に協力してもらっているケースなどがみられ、課題となっています。間人区において福祉関係者等を交え協議しており、高齢化が進む地域の将来を見据え、より良い方法や仕組みづくりを地域と一緒に検討・協議をしていくことにしています。

つながりづくりの継続

弥栄町では、昨年、地域内のつながりづくりを支援した溝谷小学校区において、昨年同様にサロン交流会や子ども会のクリスマスの取り組みについて、地区公民館で支援していくことが確認され本会も関わっていくほか、他の小学校区でも子どもを中心とした行事の開催が協議されていることから、そこに積極的に関わっていきたいと考えています。



土曜日午後の遊び場（二区こども広場）

コミュニケーションの強化

久美浜町では、地域において「活動の再開」「人の動き」が感じられるようになり、その活動を久美浜全体で把握していこうと活動の取材や情報の共有に力を入れています。取材した内容は、本会フェイスブックでの紹介や地域での会議資料として使います。また、地域の集まる場づくりの相談や、お試しサロンの企画、助成金活用アドバイスなども行っています。

令和4年度事業報告

令和4年度は、京丹後市内で新型コロナウイルス感染症による感染者が爆発的に増えました。この影響で、ふくじゅや網野デイサービスをはじめとする本会事業の利用者が減少したほか、令和5年に入りふくじゅでは3階認知症専門棟でクラスタが発生するなど、厳しい事業運営を余儀なくされました。

そうした中にも、本会としては念願だった「きょうと福祉人材育成認証」を取得することができたほか、ふくじゅでは京都府の介護ロボット等導入支援事業補助金を活用して入所者の見守りセンサーを導入することができました。

また、地域を見てみると、コロナ禍や物価高騰を起因とする生活困窮者は減少しておらず、また活動及び行動の自粛で人とひと、人と地域のつながりの希薄化がさらに進行了しました。

本会としては、感染防止対策を実施してのサロン活動の再開や、地域での福祉活動の支援をしましたが、参加者がなかなか戻ってこない、担

い手が確保できないといった状況がありました。

このように、コロナ禍により地域内での社会活動が自粛され、人とひととのつながりの希薄化が進む中で、市民局や地域公民館と連携した地域共生ステーションを弥栄町と久美浜町の庁舎に設置して、各区の情報をまとめた地域カルテの作成などを通じて、地域に積極的に関わることができました。

また、コロナ禍や物価高騰による生活困窮者対応として、生活福祉資金の特例貸付者を対象に生活物品の配付を行ったほか、年末にはフードパントリーを実施して幅広い市民のかたに対する生活物品の配付も行いました。

政府により新型コロナウイルス感染症と共存する方向性が示される中、地域で安心して住み続けられるよう福祉事業を継続実施したほか、地域と積極的に関わることで区や地域内の活動団体等と連携することができ、地域福祉を推進するための基盤づくりにつながりました。

令和4年度支出決算額 7億5,917万円

(単位：万円)

事業項目(サービス区分)	支出額	事業項目(サービス区分)	支出額
法人運営事業	8,719	福祉サービス利用援助事業	1,641
地域福祉活動事業	373	生活福祉資金貸付事務受託事業	944
婚活支援センター事業	28	ボランティア基金	326
居宅介護事業	4,528	福祉金庫等貸付事業	1
老人デイサービス受託事業	4,588	共同募金配分金事業	118
生活支援体制整備事業	692	介護老人保健施設運営事業	49,235
生活困窮者自立支援事業	1,697	健やか生きがい教室事業	1,377
権利擁護支援体制整備推進事業	335	福祉有償運送事業	1,315
支出総額 75,917			

主な事業内容(サービス区分)

■法人運営事業

令和4年度は、支所委員会及び地域福祉委員会のそれぞれで合同会議を2回開催し、町ごとの活動内容の情報共有ができたほか、公用車ヘドライブレコーダーの設置を進めました。

■ボランティア基金

コロナ禍ではありましたが、ボランティア活動や地域の雪すかし事業を支援したほか、コロナ禍や物価高騰の影響による生活困窮者に対して、年末にフードパントリーを実施して205世帯に生活物品を配布することができました。

●ボランティアセンター登録者数の推移

	R2年度	R3年度	R4年度
登録者数	2,271人	2,244人	2,313人
登録グループ数	85団体	79団体	82団体



荒山区の清掃に参加（峰山高校ボランティア）

■権利擁護支援体制整備推進事業

判断能力に不安があるかたの身近な支援者を育成するための養成講座を実施しました。

●権利擁護に関する支援者養成講座(基礎編)

5日間の講座修了者 28人

■介護老人保健施設運営事業「ふくじゅ」

京都府の介護ロボット等導入支援事業補助金を活用し、施設利用者の事故防止や体調管理を行うため見守りセンサーを導入したほか、Wi-Fiの整備や介護ソフトを導入しました。

■生活困窮者自立支援事業

弥栄町と久美浜町に地域共生ステーションを設置し、相談機能を強化したほか、地域に入り課題への対応を通じて地域内活動団体の支援を行いました。また、地域の状況を知るための地域カルテの作成を通じて、地域とのコミュニケーションを図ることができました。

■地域福祉活動事業

新型コロナウイルス感染症への対策が緩和されたことから、地域のサロン活動も少しずつ再開してきました。

●活動助成団体数の推移

	R2年度	R3年度	R4年度
サロン活動 助成団体数	84団体	80団体	83団体
実施回数	588回	531回	762回
延べ参加人数	7,637人	7,317人	10,181人



クリスマス会（口大野ふれあいサロン）

■生活福祉資金貸付事務受託事業

他の貸付制度が利用できないかたへの貸付及びコロナ禍の影響を受けたかたへの特例貸付について相談・申請事務を行いました。

●特例貸付(令和4年9月終了)

- ・受付申請件数:701件
- ・貸付申請額:26,340万円

新評議員の紹介 ▶▶▶

選出団体の役員交代等により6月13日開催の評議員選任・解任委員会において、次の方々が新たに評議員に選任されましたのでご紹介します。

(敬称略)

区 分	氏 名	住 所
自治会代表	横山 文明	峰 山 町
	森口 幸男	網 野 町
	蒲田 幸造	丹 後 町
	寺田 和男	弥 栄 町
その他団体、組織等代表	稲穂 三和子	峰 山 町
	山添 博史	大 宮 町
地域福祉委員代表	尾谷 嘉隆	網 野 町

任期：令和7年6月定時評議員会の終結の時まで



評議員及び役員の退任

この度の評議員交代と役員の改選により、以下の方々が退任されました。本会の運営及び地域福祉活動の推進にご尽力いただき、ありがとうございました。今後とも、より一層のご支援をよろしくお願いいたします。



退任評議員

(敬称略)

中西 悦男	中江 吉徳	櫛田 恵里子	吉岡 敬恭
平松 隆夫	片山 四良	山崎 正夫	

退任理事

(敬称略)

川戸 剛	吉岡 正俊	吉岡 弘陞
高橋 知恵子	藤原 りつ	服部 好孝
石河 季夫	永島 滋彦	大垣 重文
小谷 要子		

おしらせ

物価高騰やコロナ禍で生活にお困りの世帯に無料で食品を配付するために

食品の寄付にご協力ください

・対象食品

食品：米（令和3年産、令和4年産）

賞味期限が令和6年1月31日以降のレトルト食品・缶詰・乾麺等
未開封・未使用・常温で保存可能なもの。

※酒類（ノンアルコール飲料含む）、自家製食品（みそ、漬物等）、野菜は不可。



・食品預り場：京丹後市社会福祉協議会支所又は本所窓口

・問 合 せ 先：0772-65-2100（京丹後市社会福祉協議会本所）

善意のご寄附

あたたかいお気持ちをいただき、ありがとうございました。
(令和5年5月1日～令和5年6月30日受付分)

地域福祉事業へ

蛭子 智子 様(網野町木津) 3,000円(通算423回目)
株式会社 山翠園 様(大宮町河辺) 20,200円
株式会社 ベルマリエ 様(峰山町菅) 6,000円(通算203回目)

ホールインワン基金を寄附

大宮町グラウンド・ゴルフ協会 様 5,800円
京丹後市グラウンド・ゴルフ協会
会長 荻野 平行 様 9,900円

市民参加型

「食支援ミーティング」参加者募集

食は、地域や家庭に「栄養」「食育」「交流」「役割づくり」など多様な価値を提供しています。病気などで食事に制限があったり、食べる機能の低下やアレルギーがあるかたの「食べる喜びを支える」ため、皆さんの思いや工夫、アイデアを一冊にまとめ、SNS等で発信を行ったり、保護者の会や介護者の会等に配布予定です。

第1回

日時：8月21日(月)
午後2時～3時半

内容：食に関する課題の共有

会場：市弥栄庁舎3階大会議室

第2回

日時：8月30日(水)
午後2時～3時半

内容：食のアイデア・提案

会場：市弥栄庁舎3階大会議室

申込専用フォーム



QRコードから
申し込みもできます。

第3回

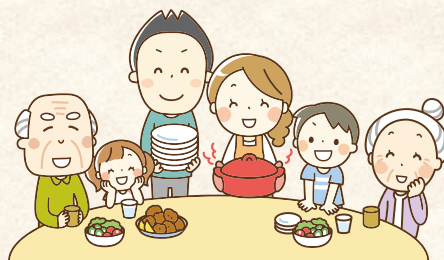
日時：9月6日(水)
午後2時～3時半

内容：まとめ、SNS等で発信

会場：市弥栄庁舎3階大会議室

会場参加が難しいかたも、
オンラインでの参加が可能ですので、
申し込みの際、お申し出ください。
後日、参加方法を連絡します。
申し込みは当日の午前中まで可能です。
ご参加お待ちしております！

申込先：京丹後市社会福祉協議会
電話：0772-65-2100
Mail：info@kyotango-shakyo.jp



職員の退職

令和5年6月30日付

【本所】 山副 崇

【ふくじゅ】 岡野 光朗

海岸清掃活動を通して伝える自分自身の探求 ~YOLO(You Only Live Once)~

丹後エクスぺリエンスの八隅孝治さんは、京丹後市の海岸を中心に海岸清掃の活動を通して、海洋ごみ問題に取り組んでいます。

また、小学校や中学校等へ出向いて講演を行ったり、海岸清掃活動体験による、ごみ問題の啓発活動も行っています。

海岸清掃活動の体験では、集めてきたごみをその場に広げ、海洋ごみについて詳しく説明をし、自分ならどうするかを考え探求してもらうと共に、自分自身への気づきも深めてもらいたいという思いを込めて、「YOLO(You Only Live Once 訳…人生一度きり)だから、あなたは、何をして、何を感じて、どうしていくの」という言葉に参加者に伝えていきます。

さらに、オランダ生まれの個人や地域単位でできるプラスチックリサイクルのプレシヤスプラスチックという取り組みを行っています。

これは、まちから集められたペットボトルキャップをリサイクルして、コースターやピアスなどを作っています。



ペットボトルのキャップを色別に仕分け中

八隅さんは「自然を守ること、希望である子どもが豊かに育っていくこと、カッコいい大人の姿を子どもたちに見せることが大切だと考えていて、海岸清掃にはその全てがまつていると思うので、親子でも安心して参加できる海岸清掃を心がけています。将来、海岸清掃活動が格好いい新たな職業になるよう、私は海岸清掃活動のプロになります。」とお話してくれました。

ここには、子どもたちの自分自身への新たな気づきが、将来の丹後の美しい海の保全活動に繋がってほしいという思いのこもった取り組みがありました。

「新しい風」に期待を込めて ~網野町島津での取り組み~

網野町島津では、移住者の受け入れや、定住を図ること、将来的に地域の過疎化を防ぎ、活発な活動のある地域をめざす取り組みが行われています。

地域を活気あるものにするために必要なのは、移住者のかたの「新しい風」とお話ししてくれたのは、移住者の定住を目指すシエアハウス「ニケ庄」発起人の三野徹男さんとシエアハウスを運営する「シロウトニケ」代表の坪倉睦男さんです。

二人は、地域に移住してきたかたの生活のイメージと実際の地域の生活とのかきりを防ぐため、移住者と地域との仲介に入り、地域の行事やイベントと一緒に参加したり、隣組のあいさつ回りや地域のルールを説明すること、移住のサポートを行っています。

また、「この地域面白いな」と興味を持ってもらえるように、地域のかたと一緒に、移住



将来について楽しそうに話す坪倉さん(左) 三野さん(右)

者の歓迎会を行っています。

「シロウトニケ」は、このまま地域の人口減少が進み、20年後には限界集落になるのではないかという危機感から「何とかせなあかん」と思う地域の人たちで立ち上げられた会社です。

取り組みの成果もあり移住希望のかたは増えているそうです、9月に入居される移住者も決まっております、地域の将来を語る二人はとても楽しそうで、希望にあふれていました。

発行 / 社会福祉法人 京丹後市社会福祉協議会

〒627-0111 京都府京丹後市弥栄町溝谷3464 TEL 0772-65-2100 FAX 0772-65-3294
http://www.kyoshakyo.or.jp/kyotango/ E-mail: info@kyotango-shakyo.jp
FBアドレス https://www.facebook.com/kyotangoaitan
婚活支援センター「出会いほ京丹後」専用HP https://www.deai-tango.com
京丹後市やさか老人保健施設ふくじゅ専用HP https://yasaka-fukujyu.jp/

峰山支所 (峰山総合福祉センター隣 TEL 62-4128)
大宮支所 (市大宮福祉会館内 TEL 64-2037)
網野支所 (網野健康福祉センター内 TEL 72-0797)
丹後支所 (市丹後庁舎内 TEL 75-0808)
弥栄支所 (市弥栄庁舎内 TEL 65-2100)
久美浜支所 (市久美浜庁舎内 TEL 82-0008)